

## 「回復期リハビリテーション病棟入院料」の施設基準に係る掲示

《期間》

令和 8年 1月 1日 ~ 令和 8年 3月31日

◇ 退棟した患者数、及び回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳

区分	退棟人数
・脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	26 名
・大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	20 名
・外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	11 名
・大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0 名
・股関節又は膝関節の置換術後の状態	1 名
【合計】	58 名

◇ 実績指数

(1) 「各患者が入棟から退棟までに利得したFIM運動項目点数」の退棟患者の総和	1,775
(2) 「各患者の回復期リハビリテーション病棟入院料の算定上限日数に対する在棟日数の割合」の退棟患者の総和	28.78
実績指数 ※ (1) ÷ (2)	61.67

※FIM（機能的自立度評価法）